

新 総 企 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

新冠町長 小 竹 國 昭



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号に係るこのことにつきまして、別紙のとおり意見等を提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

総務企画課まちづくりグループ
(企画担当：副主幹 佐藤)
TEL0146-47-2498 内線 215
FAX0146-47-2600 (2階)
E-mail:info@niikappu.jp

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

国が発展してきた過程において、道路（整備事業）は大きな役割を果たしてきた。

しかし、中央優先、地方は後まわしという道路整備により、国内では東京一極集中、道内においては札幌集中を加速させ、結果として、地方を疲弊化（過疎化への拍車、担い手不足による農林水産業の衰退など）させた側面があると考える。

今後、地方においては、少子高齢社会の進展により著しい人口減少と基幹産業の衰退が懸念されているが、国土を人間の身体に例えるなら、頭先从つま先まで一日も早く大動脈を通して血液を循環させ、それぞれの部位が本来の役割・働きを果たせるようにする必要があり、このことは一刻の猶予もないと考える。

現在、高規格幹線道路日高自動車道の整備が進められているが、この完成こそ、中央と日高地方を繋ぐ大動脈となり、地域が息を吹き返し、産業・経済の活性化と安心した暮らしをもたらすものと考える。

国土の健全な発展を前提とするならば、これまでの中央への視点や趣きを大胆に地方へシフトさせ、正に選択と集中により出来る限り短い期間で事業を完成させ、最大の効果を追求すべきである。

②－１地域の現状と抱える課題

○現状

- ・ 一般国道２３５号線は、東西に１３．９ｋｍにわたる重要路線であり、近年は車両が大型化し交通量も増大している。
- ・ 各道道は、集落を結び農産物の流通経路として活用される重要路線となっている。
また、豪雨災害時における国道の迂回路線として利用されている。
- ・ 町道は、災害時における緊急対応及び生活に密着した路線として整備を進めているが、豪雨による法面崩壊や路肩決壊等が度々ある。

○課題

- ・ 車両の大型化、防災対策を重視した拡幅改良、歩道整備が望まれている。
- ・ 未改良部分において、降雨・融雪期は通行に支障を来たしたり、冬期間にはアイスバーン状態となるなど、事故防止のための水処理等が必要である。
また、災害に強い道路の整備が望まれている。
- ・ 老朽化した路線の計画的な改良舗装や維持管理体制の強化が必要であるとともに、災害時に強い道路の整備が望まれている。

②－２地域の目指すべき将来像

北海道 新冠町

- ・ 各種道路の整備・充実により、円滑で効率的な物流の環境が形成され、基幹産業が活性化し安定した雇用環境のまち。
- ・ 各種道路の整備・充実により、ライフラインが確保された安全なまち。
- ・ 各種道路の整備・充実により、高次医療施設等への移動時間短縮による医療ニーズが補完された安心なまち。
- ・ 各種道路の整備・充実により、買物やファッション・レジャーなど多様なニーズを満たす都市部へのアクセスが確立され、利便性が高い暮らしやすいまち。
- ・ 各種道路の整備・充実により、都市部から当町の自然や牧歌、レ・コード館をはじめとする観光・体験施設への入込み多く、交流（人口）が活発なまち。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

北海道 新冠町

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・水害等の災害に強い国土づくり	高規格幹線道路日高自動車道の整備 （厚賀・静内間）	・ 円滑で効率的な物流環境 ・ 基幹産業の活性化と雇用の増大 ・ 災害時の国道代替路線確保 ・ 高次医療施設等への移動時間短縮 ・ 利便性の向上 ・ 交流人口の増大	